

## 第 2 回 会 議 録

会議の名称	桶川市立桶川東中学校 第 2 回学校運営協議会	
開催日時	令和 4 年 7 月 1 4 日 (木) (開会) 1 3 : 4 0 (閉会) 1 5 : 3 0	
開催場所	桶川東中学校 会議室	
出席者氏名 (委員)	浅野 貞雄 委員長、 山平 米男 委員、 中村 文雄 委員、上 佐良 委員、 高倉 洋子 委員、 岡 和美 委員、 杉原 美和 委員、 高瀬 寛明 委員、 家徳 丈夫 校長	
欠席者氏名	村山隆之 委員	
傍聴者	0 名	
議題	(1) 前回協議会の報告について (2) 「校訓」について	
	協議結果	意見の概要
	(1) 前回協議会の報告	<p>○前回の協議内容 (学校経営基本方針) の確認</p> <p>○「校訓」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開校 5 0 年を超えた。これからの桶川東中をどう つくり上げていくかを考えたい。</li> <li>地域で生徒をどう育てていくか、「校訓」または 「キャッチフレーズ」を検討してみてもどうか。</li> <li>作るなら、じっくりと作成できればよいと考えて いる。</li> <li>・ご意見を伺いたい。</li> <li>・浅野委員長 さいたま市はコミュニティスクールで統一した スローガンを作成している。(全校共通横断幕にする)</li> <li>校門入口に「志を立つ」撰文：鈴木芳春校長 が建っている。</li> <li>法的には設置しなければならないものではない ので、時に応じた生徒、教職員・PTA・地域が目指す シンボルになるものを作成してはどうか。</li> <li>・シンボルとなる言葉を作成するというのでよい か。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・よい。</li> <li>・地域の意見を吸い上げて、委員に提案していく。</li> <li>・他校の校訓やキャッチフレーズを確認。</li> <li>・アンケートを取る際に、目指す生徒像などを再検討する。</li> <li>・安全指導について 17号（ニトリ交差点）の歩道橋ではなく、横断歩道を渡っている中学生が多い。巻き込みが懸念される。</li> <li>・他校でも横断歩道がないために、遠回りをしなければならない箇所がある。信号に近いという理由で認められない。児童生徒のためには設置してほしいが、</li> <li>・各委員会ら感想やご意見があれば</li> <li>・運動部は見ていて楽しい。人数が少なく心配である。</li> <li>・中学校の部活動を見学する機会は少ないので、本日は、人数の関係でチームが編成できないのはかわいそうだと感じる。</li> <li>・3年生が抜けると、人数が少なくなり心配である。少ない部活はPRを頑張してほしい。</li> <li>・部活動を頑張る姿を見られてよかった。部活動の地域移行について考えると、地域で活動できなくなる部活動がでてくる恐れがある。</li> <li>・ザリガニ研究会の活動について、生徒が自発的に行う活動をできて、素晴らしい。</li> <li>・7/5 コミュニティ・スクール代表者会議の報告がなかった。代表者会議は委員長または副委員長が参加すべきではないか。</li> <li>・第1回会議任命書の手交について</li> <li>・体育祭の接待について受付、対応について</li> <li>・学校HPに学校運営協議会の開催日を掲載し、傍</li> </ul>
--	--	---

		<p>聴者を募るルールに則って行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会・組織化して、リーダーを中心に動くといい</li> <li>・日程の変更は調整できない。</li> <li>・桶川東中の部活動運営状況について（顧問、教職員の負担）検討していく。</li> </ul>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校運営協議会次第</li> <li>(2) 校訓について</li> <li>(3) 学校要覧</li> </ul>	